

未踏・ナノデバイステクノロジー第151委員会
公開シンポジウム
－有機ナノテクノロジーとデバイスへの展開－

日時：2002年9月6日（金）研究会：午前10時～午後5時30分
懇親会：午後5時30分～7時00分
会場：プラザエフ（主婦会館）（東京都千代田区、JR四谷駅前）

（なお学振151委員会委員以外の参加者の方からは参加費として3000円申し受けます。）

プログラム

- 10:00-10:10 開会の挨拶 青柳克信（理化学研究所、東京工業大学）
10:10-10:15 はじめに 大森 裕（大阪大学）
10:15-10:55 有機分子を用いた単電子トンネル素子特性
岩本光正（東京工業大学 大学院工学研究科）
10:55-11:35 ソフトオプトエレクトロニクス：フォトリフラクティブ材料
和田達夫（理化学研究所）
11:35-12:05 有機ナノ構造による有機受発光素子の高速化と光集積
デバイスへの応用 大森 裕（大阪大学）
昼 食（12:05-13:15）
13:15-13:55 自己組織化ポリシランによるナノ構造形成と光物性
古川 一暁、森田雅夫（NTT物性科学基礎研究所）
13:55-14:35 分子システムからナノデバイスへの展開
中村貴義（北海道大学）
14:35-15:05 分子性薄膜トランジスタ 工藤一浩（千葉大学）
休 憩（15:05-15:30）
15:30-16:10 有機ELディスプレイ 辻 大志（パイオニア総合研究所）
16:10-16:50 自己組織化による単分子デバイス 益子信郎（通信総合研究所）
16:50-17:30 バイオナノプロセス
－バイオ技術を利用したナノ構造の形成－
山下一郎（松下電器 先端技術研究所）

懇 親 会（17:30-19:30）

なお、準備の都合がありますので、参加を希望される方はできるだけ8月26日（月）までに下記まで、電子メール等でお申し込みください。

問い合わせ・申込先

理化学研究所 半導体工学研究室
石橋幸治
tel: 048-462-1111 ext.8425 fax: 048-462-4659
e-mail: kishiba@postman.riken.go.jp